

主題や題材など内容や時間のまとまりを見通した、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善（例）

【学 年】 小学校第5学年 〈学研みらい 版〉

【主題名】 いじめに向き合う力 （4時間扱い）

使用教材：「電池がきれるまで」「すれちがい」「母とながめた一番星」「いじめをなくすために」

【養う道徳性 ※関連する内容項目等】

- ・いじめは、自他にとってかけがえのない生命を軽々しく扱うものであり、そのような行為を断固として許さない道徳的態度を養う。
- ・C 公正，公平，社会正義 D 生命の尊さ B 相互理解，寛容

【主な学習活動と留意点】

児童生徒の実態（※肯定的な面やそれを更に伸ばしていこうとする観点からの積極的な捉え方）

クラスの問題について傍観的な立場に立ち目を背けることがあるが、生命や友達へよせるあたたかな心がある。

働かせる見方・考え方：様々な事象を道徳的諸価値をもとに自己との関わりで広い視野から多面的・多角的に捉え、自己の人間としての生き方について考えること。

	学習活動（時数）	配慮点（各教科等，体験活動等との関連）
問題意識を共有す 自分自身との関わりで・ 多面的・多角的に考え合う	2 教材名「電池が切れるまで」D 生命の尊さ （5月）(1) 中心的な発問 「先生がどんなに努力してもなくすことができなかつたいじめを，子どもたち自身の手で教室から消えさせたものは何だろう？」 教材提示の工夫 話合いの工夫 主題「いじめにどのように向き合うか？」の設定	感動を呼ぶ教材と出会うことで，いじめとの向き合い方に迫る主題を設定する。 生活経験に近い教材から，自分自身との関わりで考える。 いじめられる立場から，いじめを多面的・多角的に考える。
	2 教材名「すれちがい」B 相互理解，寛容（8月）(1) 中心的な発問 「互いの心がすれちがわないようにするにはどのような思いを大切にしたらいいの？」 役割演技の工夫 話合いの工夫	
生き方を考え深め合う	3 教材名「母とながめた一番星」D 生命の尊さ （11月）(1) 中心的な発問 「仲間外れにされた恵子が，母と一番星をながめながら気付いたことは何だろう？」 役割演技の工夫 説話の工夫 主題「いじめにどのように向き合うか？」を自己評価	自分の弱さに克つためにはどのように生きるべきかという「生き方の問い」に対して，児童一人一人が「納得解」をつかむ。
	4 教材名「いじめをなくすために」C 公正，公平，社会正義（1月）(1) 中心的な発問 「笑いながら一緒にけってしまう自分に克つにはどうしたらいいの？」 役割演技の工夫 話合いの工夫	

次学年へのつながり（児童生徒に願う姿）

いじめがどうしていけないことなのかを理解し，いじめを許さないでいじめに向かっていこうとする心の強さをもつ。